

第 7 回水稲病害虫発生予察結果(伊豆市内)



4 月下旬～5 月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ・ひとめぼれ等)

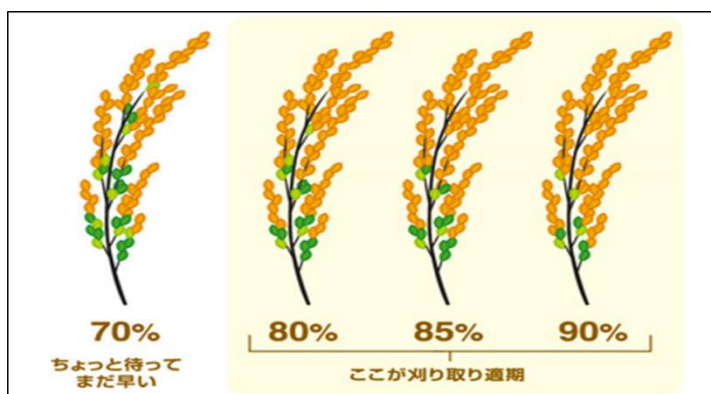
【生育状況と栽培管理】

4 月下旬から 5 月上旬に田植えを行った田んぼでは、籾の中に入っていた白い液体が固まり始める糊熟期となっております。

収穫作業のために早期に落水をする方が見受けられますが、早期に落水してしまうと籾は完熟しきれていないので、籾の厚みの形成に影響が出たり、登熟不良により品質の低下につながる可能性があるため、収穫 7 日前までは間断灌水の水管理を行うようにしてください。

【早生品種の出穂後の積算温度について】

コシヒカリの場合、出穂から数えた積算温度が 1,000℃に達した頃が刈取適期と言われています、前年の刈取日を目安にすると、気象条件により刈取適期が前後することがありますので、籾の黄化具合を確認して刈取り時期の判断を行ってください。(籾の 80%～90% 程度が黄変し、穂の元に緑色の籾が一部残っている頃)



各地区の早生品種の出穂が確認出来てからの積算温度は以下の通りとなります。

(7 月 29 日時点)

地区 温度・出穂	原保	門野原	北又	大平
積算温度 (℃)	324.1	276.4	348	358.5
出穂からの平均気温	27.0	27.6	26.7	27.5
出穂期	7/17	7/19	7/16	7/16

※積算温度と出穂確認日は JA が行っている、各地区の巡回圃場での計測値となります。

【病害虫の発生状況】

今回の調査では病害虫につきましては確認されませんでした。

5月中旬～下旬田植えの中晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおり SBL 等)

【生育状況と栽培管理】

今回の調査で中生品種の幼穂は平均 4 c m となっており、約 2 週間で出穂すると予測されます。また、晩生品種の幼穂は 0.1mm となっており、出穂するまで約 25 日で出穂すると予測されます。

幼穂の成長には水が必要となります、水が不足すると幼穂の生育に遅れや稔実が悪くなる可能性が高まります。幼穂の形成が確認できた方で中干しを行っている方は、間断灌水を行うようにしてください。

【病害虫の発生状況】

今回の調査では病害虫につきましては確認されませんでしたが、早生品種では出穂の前にカメムシの発生が確認されておりましたので今後の動向に注意してください。

**前回の予察結果・栽培管理は
こちらからご覧になれます！
次回予察予定 8月5日(火)**



作成日：令和 7 年 7 月 29 日

J A ふじ伊豆修善寺営農経済センター

担当：竹村

電話：0558-72-4461